

大腸CT(CTC)検査のご紹介

大腸CT(CTC)検査の特徴

炭酸ガスで拡張させた大腸を新型のCT装置を使用して撮影し、コンピューター処理によって得られる大腸の3次元画像により、大腸の病変を診断する検査です。

欧米では、CTを用いて大腸を診断することが一般化しています。わが国でも、近年の機器性能の向上により“CTコロノグラフィ(CTC)”として、大腸がん検診への応用が始まっています。



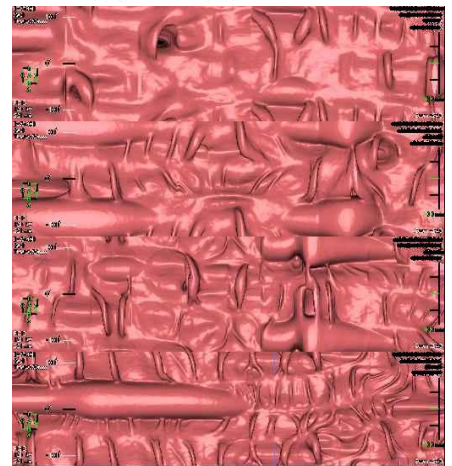
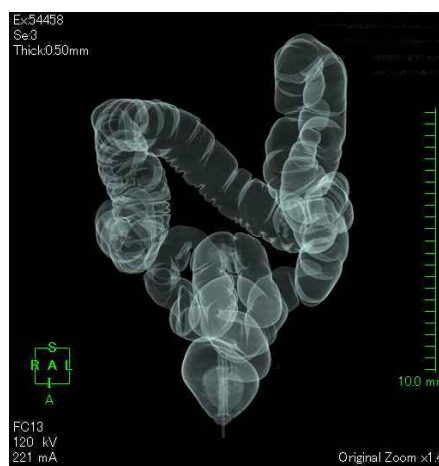
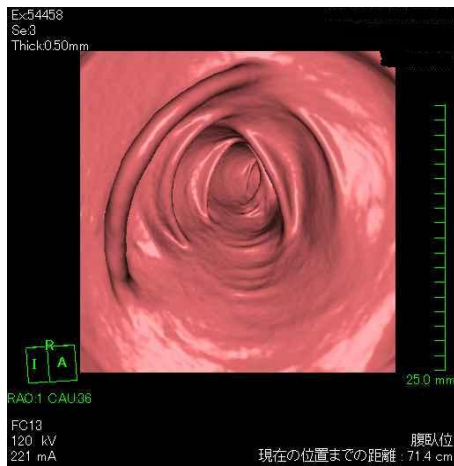
短時間（10分程度）
の検査

大腸内視鏡検査よりも
苦痛が少ない

大腸全体像や病変の形状が把握でき、異常を発見しやすい

炭酸ガスは、腸管から速やかに吸収されるため、検査実施後の不快感が少ない

他の大腸検査で問題となる偶発症（大腸穿孔、出血など）が極めて稀



※検査時に組織の採取はできません。結果によっては、大腸内視鏡検査が必要となる場合があります。
※医療被ばくがあるため、妊娠中の方もしくは妊娠の可能性のある方は検査を受けることができません。

検査の流れ

※詳細については、裏面もあわせてご参照ください。

<検査前日:検査前の処置>

検査しやすくするため、検査食や少量の下剤を用いて大腸内をきれいにします。

<検査当日>

①検査前



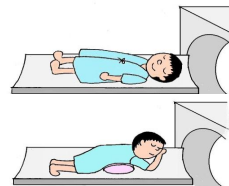
トイレにて排泄し、検査に備えます。

②炭酸ガスによる大腸の拡張



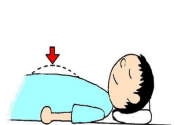
細いチューブを肛門から僅かに挿入して、炭酸ガスで大腸を拡張します。

③CT撮影 (仰向け・うつぶせ)



仰向けとうつぶせの2体位で撮影を行います。1回の撮影時間は約10秒程度です。

④検査終了



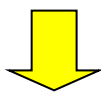
炭酸ガスは、腸管から速やかに吸収されるため、検査実施後の苦痛はほとんどありません。

大腸CT(CTC)検査受診の流れ

検査準備段階

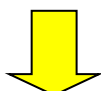
大腸 CT 受診申し込み

- ・受診申し込みは、総合健診センターにて承ります。
- ・検査前に、医師による診察・説明を受けていただきます。そのための来院日の予約をします。



医師による診察など

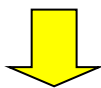
- ・医師による診察・説明があります。
- ・検査日の予約をします。
- ・前処置などの詳細について説明を行います。



検査前日

前処置

- ・検査の説明書に従い前処置を開始していただきます。
- ・この検査では、多量の下剤の服用はありません。

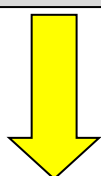


炭酸ガスによる大腸の拡張

- ・総合健診センターで受付・更衣をして、看護師と共に放射線科外来に行きます。
- ・検査実施前に、腸の蠕動運動を少なくする注射をします。
- ・細いチューブを肛門から僅かに挿入して、炭酸ガスを注入し大腸を拡張させます。



約
10
分



CT 撮影

- ・仰向けとうつぶせの2体位で撮影を行います。
- ・1回の撮影時間は約10秒程度です。



終了

- ・注意事項の説明を行います。
- ・検査後は、普通どおり食事ができます。
- ・炭酸ガスは、腸管から速やかに吸収されるため、検査実施後の膨満感や腹痛はほとんどありません。

画像処理・結果通知

- ・撮影したCT画像データを使用して、画像処理により、大腸3次元診断を行います。
- ・ご希望の方には後日、医師による結果説明もを行います。

検査料金 30,250 円 (税込)

(健康診断のオプション検査としての実施もできます。詳細についてはお問い合わせください。)

＜お申込み・お問合せ＞

地方独立行政法人 岐阜県立下呂温泉病院 総合健診センター一部

電話(直通) : 0576-23-2233 FAX : 0576-23-2234

月～金曜日 13:00～16:00(祝日除く)